

## 第5回 相原駅東口まちづくり検討会 会議要旨

場 所：堺市民センター ホール

日 時：2014年8月6日（水曜日） 19時00分～21時00分

出席者：地 権 者 等：9名

町 田 市：地区街づくり課 望月課長、吉原担当課長、加藤係長、  
森本、秋葉

コンサルタント：（株）住宅・都市問題研究所 岡田、小倉

### <次第>

#### 1. 議事

- （1）皆様から頂いた意見について
- （2）相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）
- （3）今後の予定

### <配布資料>

資 料 相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）に対する意見書の内容とその対応について

資 料 相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）

#### 1. 議事

##### （1）皆様から頂いた意見について

「相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）」に対し、2014年7月11日から7月25日まで意見を募りました。10件の意見の内容と、その意見に対する検討会の考え（案）について、それぞれ1つずつ説明を行いました。

##### （2）相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）

第4回検討会までの参加者意見を基に策定しました「相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備（案）」について、賛否を含め10通の意見書提出があったことなどから、引続き検討を進めるべきとの要望がありました。

他の参加者から検討会継続についての異論が無かったことから、市で今後の進め方を、継続を前提として検討し、結果は後日、皆様へお知らせすることとなりました。

## ＜検討会での主なご意見＞

### 検討会における市街地整備(案)の取りまとめについて

(意見) 地権者120人に発送し、10通の意見書があり、その多くが反対である。10通しか意見が無い中でどう可否を判断するのか。10通のうち、多くは反対意見なのだから、この案には反対なのではないか。より多くの地権者で合議して、関係者も納得する形が最終案ではないか。

(市の答え) 今回のまちづくりは、これまでのやり方と違い地域の方と協働で案を検討してきました。

検討会の中でも多くの方から、いつまで続けるのかという意見がありました。市の責任でこの先は地域の方と話し合いをして欲しいという意見もありました。

色々な事情で来られない方もいらっしゃいましたが、資料をその都度お送りし、今回、第4回検討会が終わった後、意見書を取りまとめさせていただきました。

(意見) 地権者が納得していないのだから、納得するまで検討会を行うべきではないか。これだけの人達が嫌だと言っているのに、それでも取りまとめるのか。認められない。今回、取りまとめを行うことを止めてください。

(意見) 地権者が納得するまで検討を進め、皆さんの意見を聞きながら進めていくことが早道ではないか。地権者全員が納得することは当然できるわけではないが、地権者の総意、大勢の方の意見が必要だと思う。120人いて、10人、20人では駄目ではないか。

(市の答え) 他の出席者の方々にもお諮りさせて頂きたい。

検討会でこれ以上続けても仕方ないだろうという話を何人かの方から頂いている。

市は今回、「相原駅東口まちづくり検討会における市街地整備(案)」の取りまとめをさせて頂きたかったが、検討会を続けるという意見があればそれも一つの選択肢である。

## 他案の再検討について

- (意見) 地域の中で、色々な案があった。1案、2案、3案、4案（地権者案：相原駅東口交差点の平面交差）とあるのだから、これらすべてを示し、地権者にきちんと話をし、色々な可能性を探るべきではないか。
- (意見) 全体的に見て、町田街道のアンダーパスは結構なことだが、東口に関して、以前、どのように検討会があったのか欠席していたので分からないが、街をどういう街にしていくか示されていなくて、街の姿が全然出てこない。  
東口の方みんながこの地域に豊かで安心して暮らせる街づくりを提案して頂きたい。
- (市の答え) 今回提示しているものは、今までの検討会に参加された方の意見を、検討会としての意見として取りまとめたものです。  
市が独自で決めているのではなく、地域の方の意見や要望、どうしたいかが、1つの方向性になることを市も望んで検討会を行っています。

## まちづくりの可能性について

- (意見) 相模原市では横浜線を高架にするという話があり、相原の方まで伸ばすことも1つの考えではないか。そのようなことも含めて街づくりの可能性を考えるべきではないか。
- (意見) リニアが橋本駅を通るなかで、土地の付加価値や利便性なども考えて街づくりを進めるべきではないか。
- (市の答え) 鉄道の連続立体交差事業を否定する話ではないが、南武線でも小田急線でも事業をやっているが、20年、30年と長い期間がかかる事業です。
- (意見) 東口についてはあまりにも利便性が低い。利便性を高め、地権者の利益を上げる必要がある。
- (意見) 実際に皆が納得感のある街づくりになることは、それを望んだ住民達の考えだから良いと思う。行政は、街づくり事業としてプッシュしていくことが大事なのではないか。
- (意見) 過去の歴史、現在の状況、未来の姿を示して検討すべきではないか。
- (意見) 区画整理とまではいかななくても、手法として使うことはできないか。

(意見) 街の活性化を基本としながら、お互いの傷み分けがある方が、納得がいく。

(市の答え) 市も課題が多く残っていると認識しており、一つでも多くの意見を頂き、まちづくりに活かしていきたい。

### **東京都の事業について**

(意見) 東京都の町田街道の立体交差化事業は、いつから移転できるようになるのか。

(市の答え) 町田街道の立体化交差事業は東京都が実施していますが、今年度中の事業認可に向けて調整を進めていると聞いています。事業が認可されますと、説明会を開催し、その後個別に地権者との交渉に移ると考えられます。

### **今後の進め方について**

(意見) 今度は検討会ではなく、もう一步進めた会にはできないか。

(意見) 今後の検討では、1案を反故にして進めるのか。

(市の答え) 今日が一つの区切りの予定でしたが、今回、検討会継続の要望がありました。今後も検討を継続させて頂き、地域の方の総意を基に検討を進めることで良いでしょうか。

また、今日、出席されていない方の意見もあります。そのため、今回の案は反故ではなく、経過としてご理解いただければと思います。

今後の検討会は、どういう進め方をするか検討させて頂き、その後、通知をお送りさせて頂きたいと思います。

今後も引き続きよろしくお願いたします。

以上